

学校再開に向けて（埼玉県立浦和工業高等学校）

【はじめに】

これは、学校再開に向けて、生徒の皆さん一人一人が注意を払わなければならないことをまとめたものです。埼玉県内でもさいたま市は感染者数が最も多く、新型コロナウイルスが落ち着くまでにはまだ時間がかかります。この新型コロナウイルスの最も怖いところは、感染していたとしても発症するまでに数日～数週間かかり、本人にもわからない間に感染が拡大してしまうことです。学校は人間が密集する場所なので、一度集団感染（クラスター）が起こったらしばらく学校閉鎖となるでしょう。教職員も皆さんが感染しないように十分留意し対策を施しますが、まずは一人一人が「自分は感染者かも知れない」という意識を持って行動してください。

そのためには、全員が新型コロナウイルスに関して正しい知識を身につけることが必要です。ネット上には新型コロナウイルスに関するフェイクニュースやデマも多く見られます。また、感染者に対する不寛容な態度も多く報道されています。新型コロナウイルスに関して、無責任な情報をSNS等に投稿したり、いじめにつながるような行為を取ったりすることは絶対に許されません。感染者を特定しようとすることや、SNS等で誤った情報を発信することはプライバシーへの配慮を欠くとともに、医療・福祉従事者をはじめ、社会機能の維持のために働く方々やその家族に対する感染症を理由とした偏見や差別などは、人権を侵害する行為です。一度広まった嘘の情報や誹謗・中傷は二度と取り戻すことはできません。浦和工業高校生として、常に冷静に考えて行動してください。

また、学校を再開することになっても油断は禁物です。今までと同じように学校外の日常生活においても、不要不急の外出は自粛してください。友達同士で密集して遊ぶなどの気の緩みは大変危険です。

皆さんは、これから教室での一斉授業や体育などの実技、専門科目である工業の実習などを受けることとなります。感染リスクはいつでもついて回りますが、皆さんの心がけ次第で感染を防止することは可能です。次に掲げる約束事が日常生活の習慣となるよう一人一人が意識して過ごしましょう。

I 約束事 *全員に守って欲しいこと

- ①学校に来る前に必ず家で検温を済ませておくこと。
- ②担任の先生に従って、SHR時に健康観察票で健康状態を報告すること。
- ③体温が37.5度を超える場合、風邪の症状や倦怠感がある場合など体調がすぐれない時は、学校に状況を連絡して家で休み、しばらく様子を見ること。
- ④登下校中（特に公共交通機関利用時）及び校内では常時マスクをすること。
※熱中症の防止対策として、こまめに水分補給すること
- ⑤授業の前後は必ず手洗い・うがいをする事。
- ⑥ドアノブ・手すり・スイッチ等不特定多数が触れるものに触った時は特に手洗いを忘れないこと。
- ⑦休み時間、昼休み、放課後等も「3密」を避け、不用意な接触をしないこと。
特にスマホの貸し借りは絶対にしないこと。※身体的距離（1m以上）を確保する
- ⑧放課後、用のない生徒は速やかに下校すること（指示があるまで部活動は禁止）。
- ⑨授業中は、空調使用時においても定期的に換気をする事。*2方向の窓を開放
- ⑩休み時間も必ず窓を開けて、換気するとともに対面での接触は避けること。
- ⑪食堂を利用する際は、1人分間隔を空けて座り、対面を避け、会話を慎むこと。
教室で昼食を取る場合も対面を避け、会話を慎むこと。

II 手洗いについて（登下校時、教室に入る前、トイレ後、昼食の前後）

- 手洗いは**接触感染**を予防するのに効果があること。
（手にウイルスがついた状態で口や鼻を触ることで粘膜から感染するから）
- 手洗いは正しい方法で行わないと予防にならないこと。
（さっと洗っただけでは、爪の裏や手のしわ、指紋の間にいたウイルスが水分で浮き出て、手のひらにウイルスが広がってしまうから）
- 手のひらだけでなく、手の甲、指先、爪の間、指の間、親指の付け根、手首も洗うようにすること。（爪の間、指の間や親指の付け根などには細菌が残りやすいから）
- 洗い終わったら、清潔なハンカチやタオル、ペーパータオルなどでよくふき取って乾かすこと。また、ハンカチ等は共用しないこと。
- 爪を短く切り、清潔にしておくこと。

III 咳エチケットについて

- 飛沫感染**とは、感染者の咳やくしゃみ、つばとともに放出されたウイルスを他者が口や鼻から吸い込んで感染することを言う。（飛沫は 1～2m 飛ぶと言われています。）
- 飛沫感染を防ぐためにも、何もせずに咳やくしゃみをしたり、咳やくしゃみを手で押さえたりせずに、3つの咳エチケットを実践すること。

<3つの咳エチケット>

- ① マスクを着用する。（口・鼻を覆う。）
- ② マスクがないときは、ティッシュやハンカチで口・鼻を覆う。
- ③ マスクがなく、とっさの時は袖で口・鼻を覆う。

<正しいマスクのつけ方>

- ① 鼻と口の両方を確実に覆う。
- ② ゴムひもを耳にかける。
- ③ 隙間がないよう鼻まで覆う。

IV 「3密」を避けることについて

- 1 換気の悪い密閉空間（空気の入れ替えのできない場所、窓のない場所）
 - 2 多数が集まる密集場所（たくさんの人が集まる場所）＊身体的距離 1 m以上の確保
 - 3 間近で会話や発声をする密接場面（人と人との間が近い場面）
- この3つの条件がそろう場所では、クラスター（集団）発生のリスクが高い。
 - 日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないように工夫することが必要である。
 - 3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り「密閉」「密集」「密接」しないようにする。

◎ポイント

飛沫感染の予防

- ・マスクの着用（咳エチケット）
- ・近距離での会話や発声
- ・定期的な換気

接触感染の予防

- ・授業、食事前後の手洗い
- ・授業の共用物の消毒
- ・スマホやゲーム等の貸し借り禁止